

# ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	約10年間 (2013年6月19日～2023年6月8日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書 (全体版)

第84期 (決算日 2020年7月8日)  
 第85期 (決算日 2020年8月11日)  
 第86期 (決算日 2020年9月8日)  
 第87期 (決算日 2020年10月8日)  
 第88期 (決算日 2020年11月9日)  
 第89期 (決算日 2020年12月8日)  
 (作成対象期間 2020年6月9日～2020年12月8日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
 お問い合わせ先 (コールセンター)  
 TEL 0120-106212  
 (営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5765>  
 <5766>  
 <5767>  
 <5768>  
 <5769>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2018年7月9日)	8,529	60	△ 5.1	15,570	△ 5.4	0.0	98.5	3,466
61期末(2018年8月8日)	8,880	60	4.8	16,072	3.2	0.0	98.5	3,661
62期末(2018年9月10日)	8,457	60	△ 4.1	15,504	△ 3.5	—	99.1	3,490
63期末(2018年10月9日)	8,898	60	5.9	16,501	6.4	—	98.8	3,613
64期末(2018年11月8日)	8,157	60	△ 7.7	15,210	△ 7.8	—	99.5	3,312
65期末(2018年12月10日)	7,957	60	△ 1.7	14,916	△ 1.9	—	99.1	3,185
66期末(2019年1月8日)	7,451	60	△ 5.6	13,922	△ 6.7	—	99.0	2,960
67期末(2019年2月8日)	7,707	60	4.2	14,442	3.7	—	98.9	3,011
68期末(2019年3月8日)	7,683	60	0.5	14,743	2.1	0.0	98.5	2,927
69期末(2019年4月8日)	7,984	60	4.7	14,965	1.5	—	98.8	2,977
70期末(2019年5月8日)	7,750	60	△ 2.2	14,726	△ 1.6	—	99.3	2,848
71期末(2019年6月10日)	7,393	60	△ 3.8	14,105	△ 4.2	—	98.9	2,621
72期末(2019年7月8日)	7,697	60	4.9	14,659	3.9	—	98.6	2,701
73期末(2019年8月8日)	7,213	60	△ 5.5	13,806	△ 5.8	—	98.9	2,504
74期末(2019年9月9日)	7,409	60	3.5	14,149	2.5	—	99.3	2,513
75期末(2019年10月8日)	7,384	60	0.5	14,477	2.3	—	98.5	2,492
76期末(2019年11月8日)	7,933	60	8.2	15,631	8.0	—	96.9	2,593
77期末(2019年12月9日)	7,898	60	0.3	15,771	0.9	—	97.7	2,553
78期末(2020年1月8日)	7,911	60	0.9	15,879	0.7	—	98.9	2,497
79期末(2020年2月10日)	7,851	60	0.0	15,944	0.4	—	99.3	2,441
80期末(2020年3月9日)	6,726	60	△ 13.6	13,544	△ 15.0	—	99.6	1,981
81期末(2020年4月8日)	6,339	60	△ 4.9	12,916	△ 4.6	—	99.2	1,862
82期末(2020年5月8日)	6,359	60	1.3	13,133	1.7	—	99.6	1,821
83期末(2020年6月8日)	7,023	60	11.4	14,842	13.0	—	98.9	2,007
84期末(2020年7月8日)	6,892	60	△ 1.0	14,467	△ 2.5	—	99.0	1,886
85期末(2020年8月11日)	6,710	60	△ 1.8	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,810
86期末(2020年9月8日)	6,935	60	4.2	14,817	4.1	—	98.1	1,817
87期末(2020年10月8日)	6,883	60	0.1	15,155	2.3	—	98.1	1,788
88期末(2020年11月9日)	6,831	60	0.1	15,266	0.7	—	98.1	1,759
89期末(2020年12月8日)	7,070	60	4.4	16,207	6.2	—	99.4	1,723

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

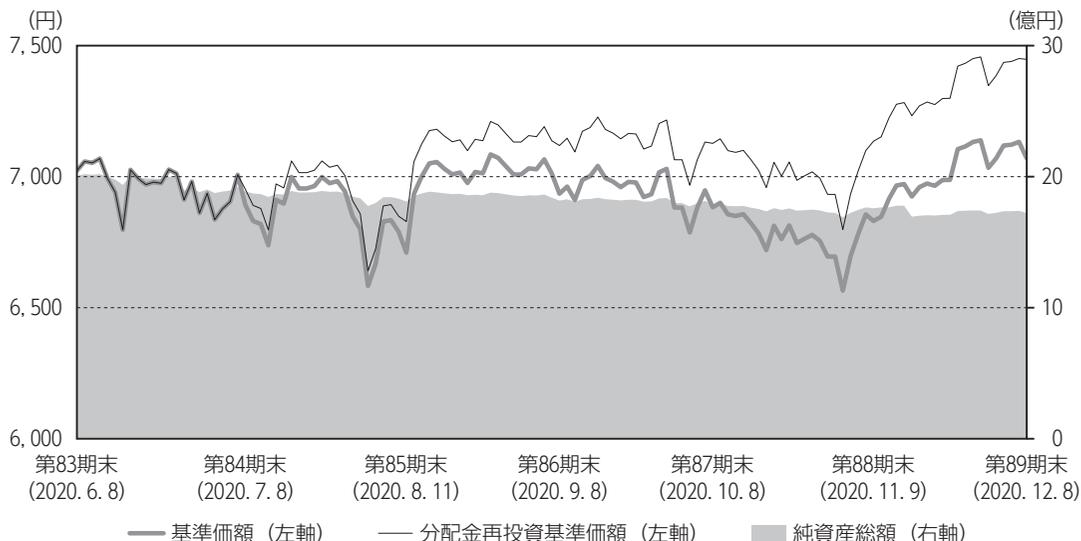
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第84期首：7,023円

第89期末：7,070円（既払分配金360円）

騰落率：6.0%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりました。また、オプション取引についてはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第84期	(期首) 2020年 6 月 8 日	円 7,023	% —	14,842	% —	% —	% 98.9
	6 月末	6,861	△ 2.3	14,260	△ 3.9	—	98.9
	(期末) 2020年 7 月 8 日	6,952	△ 1.0	14,467	△ 2.5	—	99.0
第85期	(期首) 2020年 7 月 8 日	6,892	—	14,467	—	—	99.0
	7 月末	6,799	△ 1.3	14,170	△ 2.1	—	99.5
	(期末) 2020年 8 月 11 日	6,770	△ 1.8	14,237	△ 1.6	—	98.1
第86期	(期首) 2020年 8 月 11 日	6,710	—	14,237	—	—	98.1
	8 月末	7,008	4.4	14,772	3.8	—	98.2
	(期末) 2020年 9 月 8 日	6,995	4.2	14,817	4.1	—	98.1
第87期	(期首) 2020年 9 月 8 日	6,935	—	14,817	—	—	98.1
	9 月末	7,030	1.4	15,262	3.0	—	98.5
	(期末) 2020年 10 月 8 日	6,943	0.1	15,155	2.3	—	98.1
第88期	(期首) 2020年 10 月 8 日	6,883	—	15,155	—	—	98.1
	10 月末	6,695	△ 2.7	14,828	△ 2.2	—	99.0
	(期末) 2020年 11 月 9 日	6,891	0.1	15,266	0.7	—	98.1
第89期	(期首) 2020年 11 月 9 日	6,831	—	15,266	—	—	98.1
	11 月末	7,139	4.5	16,444	7.7	—	98.5
	(期末) 2020年 12 月 8 日	7,130	4.4	16,207	6.2	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 6. 9～2020. 12. 8）

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、当作成期首より上値が重い展開となりました。当作成期中には安倍首相の辞任が正式に発表されて株式市況は大幅に下落したものの、菅官房長官の自民党総裁選挙での優位が伝えられると、政策の継続性という安心感から株価は一進一退となりました。2020年11月には、米国大統領選挙を無事に終了した安心感と新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感から大きく上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

今後も、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

### クロッキーファンド（日本円・クラス）

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2020. 6. 9～2020. 12. 8）

### 当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### クロッキーファンド（日本円・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、当作成期首比では上昇したものの、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。また、オプション取引についてはマイナスとなりました。

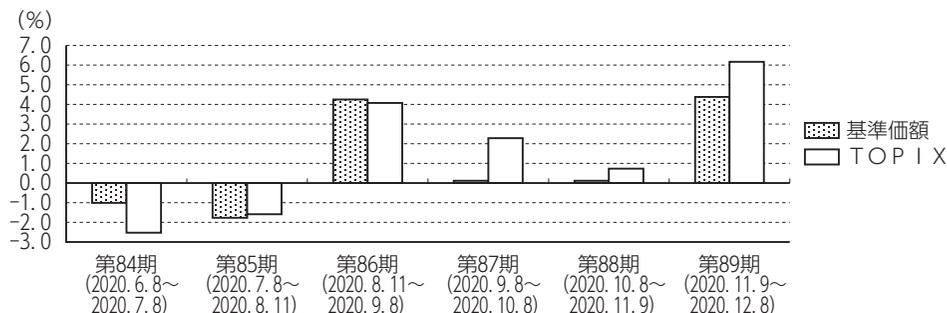
### ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>
対基準価額比率 (%)	0.86	0.89	0.86	0.86	0.87	0.84
当期の収益 (円)	45	55	60	54	60	52
当期の収益以外 (円)	14	4	—	5	—	7
翌期繰越分配対象額 (円)	1,439	1,435	1,437	1,432	1,442	1,434

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.60円	✓ 55.76円	✓ 62.39円	✓ 54.64円	✓ 69.44円	✓ 52.89円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	498.58	500.19	501.73	503.14	504.53	505.88
(d) 分配準備積立金	✓ 955.54	✓ 939.55	933.79	✓ 934.78	928.05	✓ 936.15
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,499.72	1,495.51	1,497.92	1,492.57	1,502.03	1,494.93
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,439.72	1,435.51	1,437.92	1,432.57	1,442.03	1,434.93

(注) ✓を付した該項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーファンド (日本円・クラス)

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020. 6. 9～2020. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0. 745%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6, 932円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0. 468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	52	0. 749	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

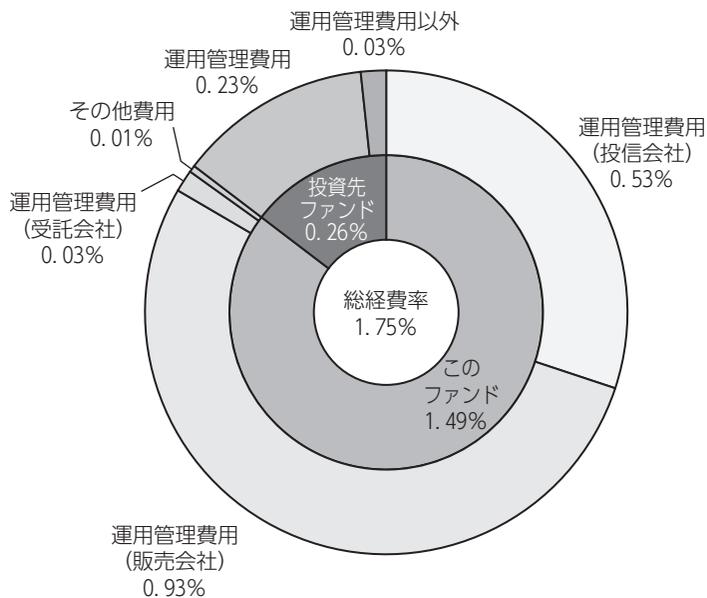
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

決算期	第 84 期 ～ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,577,292,897	千円 100,232	千口 6,075,601,395	千円 386,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

第 84 期 ～				第 89 期			
買 付			平均単価 円	売 付			平均単価 円
銘 柄	口 数	金 額		銘 柄	口 数	金 額	
	千口	千円			千口	千円	
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	6,075,601,395	386,300	63

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 26,139,358,136	千円 1,713,539	% 99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,713,539	% 98.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	27,292	1.6
投資信託財産総額	1,741,231	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,909,425,725円</b>	<b>1,829,521,133円</b>	<b>1,887,072,821円</b>	<b>1,850,148,703円</b>	<b>1,776,918,600円</b>	<b>1,741,231,234円</b>
コール・ローン等	40,448,460	53,103,301	28,665,219	29,633,042	50,919,433	27,292,589
投資信託受益証券 (評価額)	1,868,578,023	1,776,018,590	1,782,408,401	1,753,716,460	1,725,599,965	1,713,539,483
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,242	399,242	399,202	399,202	399,202	399,162
未収入金	—	—	75,599,999	66,399,999	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>22,893,693</b>	<b>18,831,017</b>	<b>69,367,700</b>	<b>61,746,657</b>	<b>17,803,127</b>	<b>18,119,378</b>
未払金	—	—	37,800,000	33,200,000	—	—
未払収益分配金	16,423,798	16,191,255	15,727,250	15,588,787	15,450,968	14,624,001
未払解約金	4,062,831	28,665	13,670,221	10,681,005	—	1,364,687
未払信託報酬	2,393,638	2,583,578	2,130,753	2,225,085	2,287,903	2,055,073
その他未払費用	13,426	27,519	39,476	51,780	64,256	75,617
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,886,532,032</b>	<b>1,810,690,116</b>	<b>1,817,705,121</b>	<b>1,788,402,046</b>	<b>1,759,115,473</b>	<b>1,723,111,856</b>
元本	2,737,299,737	2,698,542,542	2,621,208,386	2,598,131,274	2,575,161,390	2,437,333,523
次期繰越損益金	△ 850,767,705	△ 887,852,426	△ 803,503,265	△ 809,729,228	△ 816,045,917	△ 714,221,667
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,737,299,737口</b>	<b>2,698,542,542口</b>	<b>2,621,208,386口</b>	<b>2,598,131,274口</b>	<b>2,575,161,390口</b>	<b>2,437,333,523口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>6,892円</b>	<b>6,710円</b>	<b>6,935円</b>	<b>6,883円</b>	<b>6,831円</b>	<b>7,070円</b>

\* 第83期末における元本額は2,857,604,873円、当作成期間 (第84期~第89期) 中における追加設定元本額は24,618,766円、同解約元本額は444,890,116円です。

\* 第89期末の計算口数当りの純資産額は7,070円です。

\* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は714,221,667円です。

■損益の状況

第84期 自 2020年6月9日 至 2020年7月8日    第86期 自 2020年8月12日 至 2020年9月8日    第88期 自 2020年10月9日 至 2020年11月9日

第85期 自 2020年7月9日 至 2020年8月11日    第87期 自 2020年9月9日 至 2020年10月8日    第89期 自 2020年11月10日 至 2020年12月8日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>14,889,713円</b>	<b>17,645,537円</b>	<b>16,824,847円</b>	<b>16,433,958円</b>	<b>20,183,424円</b>	<b>13,258,891円</b>
受取配当金	14,890,688	17,646,066	16,826,007	16,435,500	20,183,985	13,259,759
受取利息	54	30	69	57	—	42
支払利息	△ 1,029	△ 559	△ 1,229	△ 1,599	△ 561	△ 910
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 32,060,472</b>	<b>△ 47,980,129</b>	<b>59,925,988</b>	<b>△ 11,907,092</b>	<b>△ 15,899,799</b>	<b>61,571,803</b>
売買益	720,196	623,201	61,206,381	88,318	219,700	63,036,343
売買損	△ 32,780,668	△ 48,603,330	△ 1,280,393	△ 11,995,410	△ 16,119,499	△ 1,464,540
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,406,872</b>	<b>△ 2,597,863</b>	<b>△ 2,142,710</b>	<b>△ 2,237,389</b>	<b>△ 2,300,553</b>	<b>△ 2,066,434</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 19,577,631</b>	<b>△ 32,932,455</b>	<b>74,608,125</b>	<b>2,289,477</b>	<b>1,983,072</b>	<b>72,764,260</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 747,647,069</b>	<b>△ 771,249,982</b>	<b>△ 795,566,046</b>	<b>△ 729,102,691</b>	<b>△ 734,751,320</b>	<b>△ 707,155,557</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 67,119,207</b>	<b>△ 67,478,734</b>	<b>△ 66,818,094</b>	<b>△ 67,327,227</b>	<b>△ 67,826,701</b>	<b>△ 65,206,369</b>
(配当等相当額)	( 136,476,943)	( 134,978,543)	( 131,514,197)	( 130,724,318)	( 129,925,823)	( 123,301,802)
(売買損益相当額)	(△ 203,596,150)	(△ 202,457,277)	(△ 198,332,291)	(△ 198,051,545)	(△ 197,752,524)	(△ 188,508,171)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 834,343,907</b>	<b>△ 871,661,171</b>	<b>△ 787,776,015</b>	<b>△ 794,140,441</b>	<b>△ 800,594,949</b>	<b>△ 699,597,666</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 16,423,798</b>	<b>△ 16,191,255</b>	<b>△ 15,727,250</b>	<b>△ 15,588,787</b>	<b>△ 15,450,968</b>	<b>△ 14,624,001</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 850,767,705	△ 887,852,426	△ 803,503,265	△ 809,729,228	△ 816,045,917	△ 714,221,667
追加信託差損益金	△ 67,119,207	△ 67,478,734	△ 66,818,094	△ 67,327,227	△ 67,826,701	△ 65,206,369
(配当等相当額)	( 136,476,943)	( 134,978,543)	( 131,514,197)	( 130,724,318)	( 129,925,823)	( 123,301,802)
(売買損益相当額)	(△ 203,596,150)	(△ 202,457,277)	(△ 198,332,291)	(△ 198,051,545)	(△ 197,752,524)	(△ 188,508,171)
分配準備積立金	257,619,669	252,400,143	245,395,604	241,477,586	241,420,985	226,440,065
繰越損益金	△ 1,041,268,167	△ 1,072,773,835	△ 982,080,775	△ 983,879,587	△ 989,640,201	△ 875,455,363

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,482,829円	15,047,665円	16,355,154円	14,196,553円	17,882,866円	12,892,714円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	136,476,943	134,978,543	131,514,197	130,724,318	129,925,823	123,301,802
(d) 分配準備積立金	261,560,638	253,543,733	244,767,700	242,869,820	238,989,087	228,171,352
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	410,520,410	403,569,941	392,637,051	387,790,691	386,797,776	364,365,868
(f) 分配金	16,423,798	16,191,255	15,727,250	15,588,787	15,450,968	14,624,001
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	394,096,612	387,378,686	376,909,801	372,201,904	371,346,808	349,741,867
(h) 受益権総口数	2,737,299,737口	2,698,542,542口	2,621,208,386口	2,598,131,274口	2,575,161,390口	2,437,333,523口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
		60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
60期末(2018年7月9日)	6,708	80	△ 7.3	15,570	△ 5.4	82.27	△ 1.8	0.0	98.9	876
61期末(2018年8月8日)	6,998	80	5.5	16,072	3.2	82.76	0.6	0.0	99.7	898
62期末(2018年9月10日)	6,372	80	△ 7.8	15,504	△ 3.5	78.89	△ 4.7	—	98.7	797
63期末(2018年10月9日)	6,772	80	7.5	16,501	6.4	79.96	1.4	—	98.7	844
64期末(2018年11月8日)	6,323	80	△ 5.4	15,210	△ 7.8	82.62	3.3	—	98.7	783
65期末(2018年12月10日)	6,043	80	△ 3.2	14,916	△ 1.9	81.01	△ 1.9	—	98.7	720
66期末(2019年1月8日)	5,344	80	△ 10.2	13,922	△ 6.7	77.71	△ 4.1	—	98.4	639
67期末(2019年2月8日)	5,540	80	5.2	14,442	3.7	77.63	△ 0.1	—	98.5	650
68期末(2019年3月8日)	5,543	50	1.0	14,743	2.1	78.26	0.8	0.0	98.6	642
69期末(2019年4月8日)	5,819	50	5.9	14,965	1.5	79.07	1.0	—	98.5	659
70期末(2019年5月8日)	5,509	50	△ 4.5	14,726	△ 1.6	77.27	△ 2.3	—	98.5	589
71期末(2019年6月10日)	5,135	50	△ 5.9	14,105	△ 4.2	75.84	△ 1.9	—	98.5	473
72期末(2019年7月8日)	5,331	50	4.8	14,659	3.9	75.75	△ 0.1	—	99.3	471
73期末(2019年8月8日)	4,707	50	△ 10.8	13,806	△ 5.8	71.70	△ 5.3	—	98.3	408
74期末(2019年9月9日)	4,938	50	6.0	14,149	2.5	73.15	2.0	—	98.4	426
75期末(2019年10月8日)	4,840	50	△ 1.0	14,477	2.3	72.29	△ 1.2	—	98.5	402
76期末(2019年11月8日)	5,408	50	12.8	15,631	8.0	75.34	4.2	—	97.1	436
77期末(2019年12月9日)	5,302	50	△ 1.0	15,771	0.9	74.21	△ 1.5	—	98.9	401
78期末(2020年1月8日)	5,326	50	1.4	15,879	0.7	73.93	△ 0.4	—	98.6	391
79期末(2020年2月10日)	5,188	50	△ 1.7	15,944	0.4	73.27	△ 0.9	—	98.7	379
80期末(2020年3月9日)	4,212	50	△ 17.8	13,544	△ 15.0	67.44	△ 8.0	—	98.4	305
81期末(2020年4月8日)	3,798	50	△ 8.6	12,916	△ 4.6	66.72	△ 1.1	—	98.4	275
82期末(2020年5月8日)	3,868	50	3.2	13,133	1.7	69.42	4.0	—	99.2	281
83期末(2020年6月8日)	4,705	50	22.9	14,842	13.0	76.45	10.1	—	98.9	338
84期末(2020年7月8日)	4,509	50	△ 3.1	14,467	△ 2.5	74.65	△ 2.4	—	99.4	323
85期末(2020年8月11日)	4,418	50	△ 0.9	14,237	△ 1.6	75.86	1.6	—	98.7	314
86期末(2020年9月8日)	4,607	50	5.4	14,817	4.1	77.38	2.0	—	99.7	328
87期末(2020年10月8日)	4,478	50	△ 1.7	15,155	2.3	75.63	△ 2.3	—	98.0	319
88期末(2020年11月9日)	4,400	50	△ 0.6	15,266	0.7	75.15	△ 0.6	—	98.1	311
89期末(2020年12月8日)	4,671	50	7.3	16,207	6.2	77.16	2.7	—	98.1	326

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日目の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

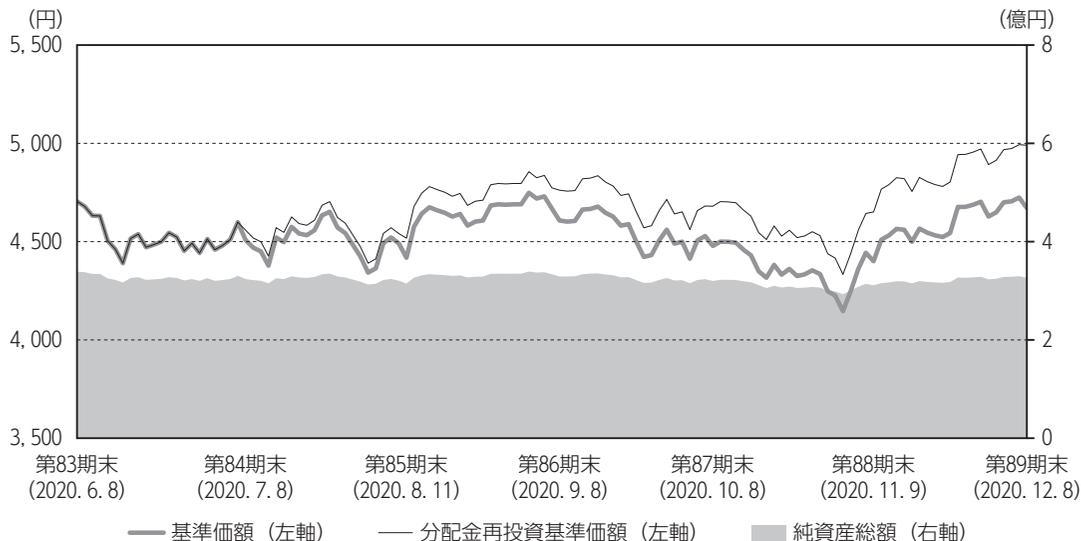
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第84期首：4,705円

第89期末：4,671円（既払分配金300円）

騰落率：6.1%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりました。また、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／豪ドル買い）は、軽微な影響にとどまりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第84期	(期首) 2020年 6月 8日	4,705	—	14,842	—	76.45	—	—	98.9
	6月末	4,442	△ 5.6	14,260	△ 3.9	73.88	△ 3.4	—	98.8
	(期末) 2020年 7月 8日	4,559	△ 3.1	14,467	△ 2.5	74.65	△ 2.4	—	99.4
第85期	(期首) 2020年 7月 8日	4,509	—	14,467	—	74.65	—	—	99.4
	7月末	4,424	△ 1.9	14,170	△ 2.1	75.37	1.0	—	99.3
	(期末) 2020年 8月11日	4,468	△ 0.9	14,237	△ 1.6	75.86	1.6	—	98.7
第86期	(期首) 2020年 8月11日	4,418	—	14,237	—	75.86	—	—	98.7
	8月末	4,690	6.2	14,772	3.8	77.50	2.2	—	98.6
	(期末) 2020年 9月 8日	4,657	5.4	14,817	4.1	77.38	2.0	—	99.7
第87期	(期首) 2020年 9月 8日	4,607	—	14,817	—	77.38	—	—	99.7
	9月末	4,561	△ 1.0	15,262	3.0	75.49	△ 2.4	—	99.7
	(期末) 2020年10月 8日	4,528	△ 1.7	15,155	2.3	75.63	△ 2.3	—	98.0
第88期	(期首) 2020年10月 8日	4,478	—	15,155	—	75.63	—	—	98.0
	10月末	4,225	△ 5.6	14,828	△ 2.2	73.57	△ 2.7	—	99.1
	(期末) 2020年11月 9日	4,450	△ 0.6	15,266	0.7	75.15	△ 0.6	—	98.1
第89期	(期首) 2020年11月 9日	4,400	—	15,266	—	75.15	—	—	98.1
	11月末	4,703	6.9	16,444	7.7	76.91	2.3	—	99.5
	(期末) 2020年12月 8日	4,721	7.3	16,207	6.2	77.16	2.7	—	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 6. 9～2020. 12. 8）

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、当作成期首より上値が重い展開となりました。当作成期中には安倍首相の辞任が正式に発表されて株式市況は大幅に下落したものの、菅官房長官の自民党総裁選挙での優位が伝えられると、政策の継続性という安心感から株価は一進一退となりました。2020年11月には、米国大統領選挙を無事に終了した安心感と新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感から大きく上昇しました。

### 為替相場

豪ドルは対円でほぼ横ばいとなりました。

豪ドルの対円為替相場は、コモディティ価格の堅調な推移などを背景に、当作成期首から2020年8月にかけて上昇（円安）しました。その後は、RBA（オーストラリア準備銀行）のデベル副総裁が追加緩和を示唆したことからも下落（円高）しましたが、欧米でも量的緩和の拡大が見込まれ、豪ドルは一進一退となりました。

### 短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を0.25%から0.10%に引き下げました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

## ■クロッキーファンド (豪ドル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 6. 9 ~ 2020. 12. 8)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (豪ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■クロッキーファンド (豪ドル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、当作成期首比では上昇したものの、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP 1 X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。また、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

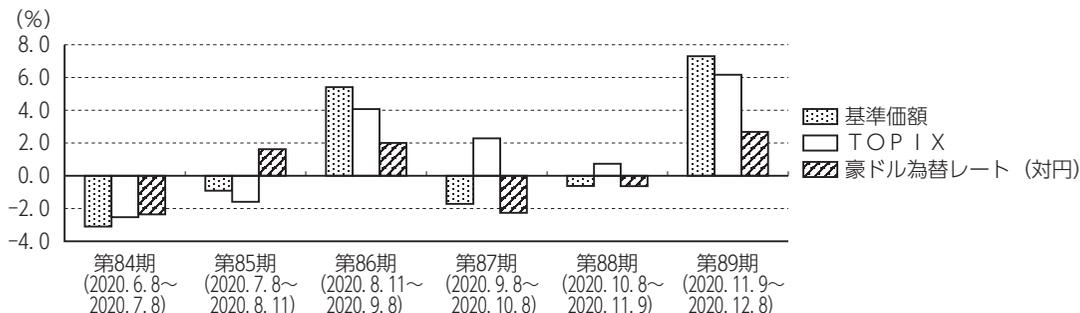
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>
対基準価額比率 (%)	1.10	1.12	1.07	1.10	1.12	1.06
当期の収益 (円)	28	39	41	37	46	35
当期の収益以外 (円)	21	10	8	12	3	14
翌期繰越分配対象額 (円)	1,284	1,273	1,265	1,252	1,249	1,234

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 28.59円	✓ 39.12円	✓ 41.23円	✓ 37.68円	✓ 46.60円	✓ 35.16円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	815.73	817.20	818.32	820.74	821.76	823.27
(d) 分配準備積立金	✓ 490.45	✓ 467.61	✓ 455.62	✓ 444.45	✓ 431.11	✓ 426.22
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,334.78	1,323.94	1,315.18	1,302.87	1,299.49	1,284.65
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,284.78	1,273.94	1,265.18	1,252.87	1,249.49	1,234.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーファンド（豪ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。
 

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020. 6. 9～2020. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.744%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,532円です。
（投 信 会 社）	(12)	(0.264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(21)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	34	0.748	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

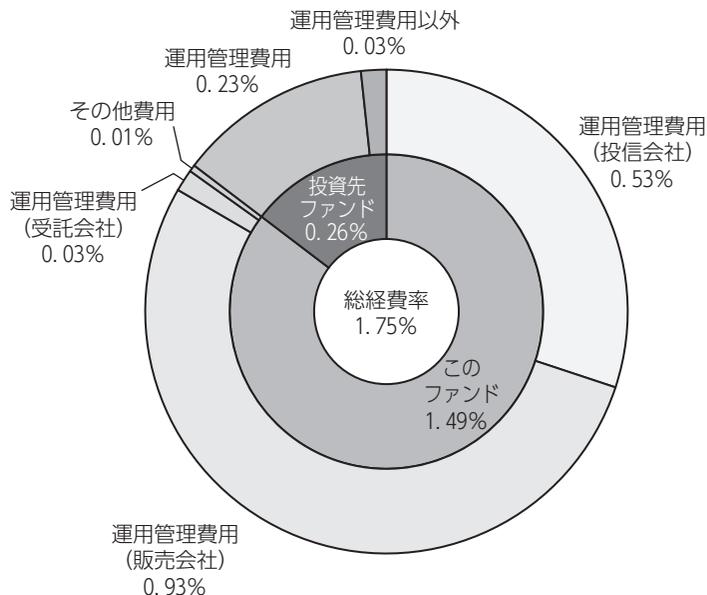
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 389.689223	千円 18,048	千口 770.779516	千円 36,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

銘柄	第 84 期 ~			第 89 期		
	買 付			売 付		
	□ 数	金 額	平均単価	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	770.779516	36,000	46			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 6,519.968829	千円 319,810	% 98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 319,810	% 96.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	10,142	3.1
投資信託財産総額	330,053	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
<b>(A) 資産</b>	<b>327,838,025円</b>	<b>320,642,500円</b>	<b>332,936,165円</b>	<b>323,932,014円</b>	<b>315,015,892円</b>	<b>330,053,563円</b>
コール・ローン等	5,772,265	10,096,980	4,908,905	10,202,179	9,731,401	10,142,782
投資信託受益証券 (評価額)	321,965,950	310,445,710	327,927,460	313,630,035	305,184,691	319,810,991
ダイワ・マネースtock・マザーファンド (評価額)	99,810	99,810	99,800	99,800	99,800	99,790
<b>(B) 負債</b>	<b>4,010,987</b>	<b>5,965,843</b>	<b>3,956,996</b>	<b>3,980,703</b>	<b>3,950,139</b>	<b>3,917,419</b>
未払収益分配金	3,591,191	3,561,592	3,570,287	3,572,863	3,534,579	3,490,725
未払解約金	19,334	1,949,292	—	—	—	32,572
未払信託報酬	398,252	450,296	379,932	398,873	404,398	380,865
その他未払費用	2,210	4,663	6,777	8,967	11,162	13,257
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>323,827,038</b>	<b>314,676,657</b>	<b>328,979,169</b>	<b>319,951,311</b>	<b>311,065,753</b>	<b>326,136,144</b>
元本	718,238,382	712,318,475	714,057,559	714,572,691	706,915,961	698,145,090
次期繰越損益金	△ 394,411,344	△ 397,641,818	△ 385,078,390	△ 394,621,380	△ 395,850,208	△ 372,008,946
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>718,238,382口</b>	<b>712,318,475口</b>	<b>714,057,559口</b>	<b>714,572,691口</b>	<b>706,915,961口</b>	<b>698,145,090口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>4,509円</b>	<b>4,418円</b>	<b>4,607円</b>	<b>4,478円</b>	<b>4,400円</b>	<b>4,671円</b>

\*第83期末における元本額は720,362,788円、当作成期間 (第84期～第89期) 中における追加設定元本額は14,216,364円、同解約元本額は36,434,062円です。

\*第89期末の計算口数当りの純資産額は4,671円です。

\*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は372,008,946円です。

■損益の状況

第84期 自 2020年6月9日 至 2020年7月8日 第86期 自 2020年8月12日 至 2020年9月8日 第88期 自 2020年10月9日 至 2020年11月9日

第85期 自 2020年7月9日 至 2020年8月11日 第87期 自 2020年9月9日 至 2020年10月8日 第89期 自 2020年11月10日 至 2020年12月8日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,454,404円</b>	<b>3,239,972円</b>	<b>3,010,553円</b>	<b>3,093,698円</b>	<b>3,701,548円</b>	<b>2,496,985円</b>
受取配当金	2,454,580	3,240,043	3,010,752	3,093,784	3,701,639	2,497,058
受取利息	10	7	9	—	—	2
支払利息	△ 186	△ 78	△ 208	△ 86	△ 91	△ 75
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 12,546,061</b>	<b>△ 5,699,728</b>	<b>14,470,869</b>	<b>△ 8,396,697</b>	<b>△ 5,216,490</b>	<b>20,292,867</b>
売買益	88,440	82,368	14,470,998	1	122,359	20,325,004
売買損	△ 12,634,501	△ 5,782,096	△ 129	△ 8,396,698	△ 5,338,849	△ 32,137
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 400,441</b>	<b>△ 452,770</b>	<b>△ 382,046</b>	<b>△ 401,063</b>	<b>△ 406,620</b>	<b>△ 382,960</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 10,492,098</b>	<b>△ 2,912,526</b>	<b>17,099,376</b>	<b>△ 5,704,062</b>	<b>△ 1,921,562</b>	<b>22,406,892</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 335,597,368</b>	<b>△ 345,734,304</b>	<b>△ 352,205,957</b>	<b>△ 337,093,230</b>	<b>△ 341,853,208</b>	<b>△ 341,793,144</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 44,730,687</b>	<b>△ 45,433,396</b>	<b>△ 46,401,522</b>	<b>△ 48,251,225</b>	<b>△ 48,540,859</b>	<b>△ 49,131,969</b>
(配当等相当額)	( 58,589,019)	( 58,210,778)	( 58,433,178)	( 58,647,861)	( 58,091,644)	( 57,476,230)
(売買損益相当額)	(△ 103,319,706)	(△ 103,644,174)	(△ 104,834,700)	(△ 106,899,086)	(△ 106,632,503)	(△ 106,608,199)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 390,820,153</b>	<b>△ 394,080,226</b>	<b>△ 381,508,103</b>	<b>△ 391,048,517</b>	<b>△ 392,315,629</b>	<b>△ 368,518,221</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 3,591,191</b>	<b>△ 3,561,592</b>	<b>△ 3,570,287</b>	<b>△ 3,572,863</b>	<b>△ 3,534,579</b>	<b>△ 3,490,725</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 394,411,344	△ 397,641,818	△ 385,078,390	△ 394,621,380	△ 395,850,208	△ 372,008,946
追加信託差損益金	△ 44,730,687	△ 45,433,396	△ 46,401,522	△ 48,251,225	△ 48,540,859	△ 49,131,969
(配当等相当額)	( 58,589,019)	( 58,210,778)	( 58,433,178)	( 58,647,861)	( 58,091,644)	( 57,476,230)
(売買損益相当額)	(△ 103,319,706)	(△ 103,644,174)	(△ 104,834,700)	(△ 106,899,086)	(△ 106,632,503)	(△ 106,608,199)
分配準備積立金	33,688,969	32,534,379	31,908,628	30,879,196	30,236,855	28,720,900
繰越損益金	△ 383,369,626	△ 384,742,801	△ 370,585,496	△ 377,249,351	△ 377,546,204	△ 351,597,877

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,053,963円	2,787,202円	2,944,764円	2,692,634円	3,294,928円	2,455,013円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	58,589,019	58,210,778	58,433,178	58,647,861	58,091,644	57,476,230
(d) 分配準備積立金	35,226,197	33,308,769	32,534,151	31,759,425	30,476,506	29,756,612
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	95,869,179	94,306,749	93,912,093	93,099,920	91,863,078	89,687,855
(f) 分配金	3,591,191	3,561,592	3,570,287	3,572,863	3,534,579	3,490,725
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	92,277,988	90,745,157	90,341,806	89,527,057	88,328,499	86,197,130
(h) 受益権総口数	718,238,382□	712,318,475□	714,057,559□	714,572,691□	706,915,961□	698,145,090□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
		50円	50円	50円	50円	50円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
60期末(2018年7月9日)	4,347	100	△ 4.7	15,570	△ 5.4	28.60	1.7	0.0	99.0	5,025
61期末(2018年8月8日)	4,744	100	11.4	16,072	3.2	29.69	3.8	0.0	98.2	5,372
62期末(2018年9月10日)	4,101	70	△ 12.1	15,504	△ 3.5	27.35	△ 7.9	—	98.9	4,586
63期末(2018年10月9日)	4,596	70	13.8	16,501	6.4	29.90	9.3	—	98.8	5,022
64期末(2018年11月8日)	4,323	70	△ 4.4	15,210	△ 7.8	30.39	1.6	—	99.4	4,655
65期末(2018年12月10日)	4,056	70	△ 4.6	14,916	△ 1.9	28.81	△ 5.2	—	98.3	4,292
66期末(2019年1月8日)	3,766	70	△ 5.4	13,922	△ 6.7	29.14	1.1	—	99.0	3,953
67期末(2019年2月8日)	3,897	70	5.3	14,442	3.7	29.54	1.4	—	98.3	4,047
68期末(2019年3月8日)	3,796	40	△ 1.6	14,743	2.1	28.77	△ 2.6	0.0	98.7	3,923
69期末(2019年4月8日)	3,961	40	5.4	14,965	1.5	28.77	0.0	—	98.8	3,834
70期末(2019年5月8日)	3,686	40	△ 5.9	14,726	△ 1.6	27.75	△ 3.5	—	99.2	3,372
71期末(2019年6月10日)	3,554	40	△ 2.5	14,105	△ 4.2	27.95	0.7	—	99.2	3,077
72期末(2019年7月8日)	3,748	40	6.6	14,659	3.9	28.40	1.6	—	98.6	3,147
73期末(2019年8月8日)	3,280	40	△ 11.4	13,806	△ 5.8	26.71	△ 6.0	—	98.0	2,746
74期末(2019年9月9日)	3,311	40	2.2	14,149	2.5	26.33	△ 1.4	—	98.7	2,685
75期末(2019年10月8日)	3,295	40	0.7	14,477	2.3	26.14	△ 0.7	—	98.3	2,565
76期末(2019年11月8日)	3,592	40	10.2	15,631	8.0	26.66	2.0	—	96.7	2,683
77期末(2019年12月9日)	3,478	40	△ 2.1	15,771	0.9	26.23	△ 1.6	—	97.3	2,549
78期末(2020年1月8日)	3,543	40	3.0	15,879	0.7	26.52	1.1	—	98.1	2,530
79期末(2020年2月10日)	3,357	40	△ 4.1	15,944	0.4	25.38	△ 4.3	—	99.0	2,308
80期末(2020年3月9日)	2,517	40	△ 23.8	13,544	△ 15.0	22.05	△ 13.1	—	98.2	1,720
81期末(2020年4月8日)	2,116	40	△ 14.3	12,916	△ 4.6	20.80	△ 5.7	—	98.4	1,435
82期末(2020年5月8日)	1,813	40	△ 12.4	13,133	1.7	18.22	△ 12.4	—	99.6	1,218
83期末(2020年6月8日)	2,451	40	37.4	14,842	13.0	22.07	21.1	—	99.3	1,639
84期末(2020年7月8日)	2,182	40	△ 9.3	14,467	△ 2.5	20.00	△ 9.4	—	98.6	1,454
85期末(2020年8月11日)	2,049	25	△ 4.9	14,237	△ 1.6	19.37	△ 3.2	—	98.0	1,367
86期末(2020年9月8日)	2,180	25	7.6	14,817	4.1	20.05	3.5	—	98.0	1,415
87期末(2020年10月8日)	2,030	25	△ 5.7	15,155	2.3	18.90	△ 5.7	—	98.1	1,301
88期末(2020年11月9日)	2,004	25	△ 0.0	15,266	0.7	19.22	1.7	—	98.2	1,280
89期末(2020年12月8日)	2,241	25	13.1	16,207	6.2	20.37	6.0	—	99.8	1,400

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

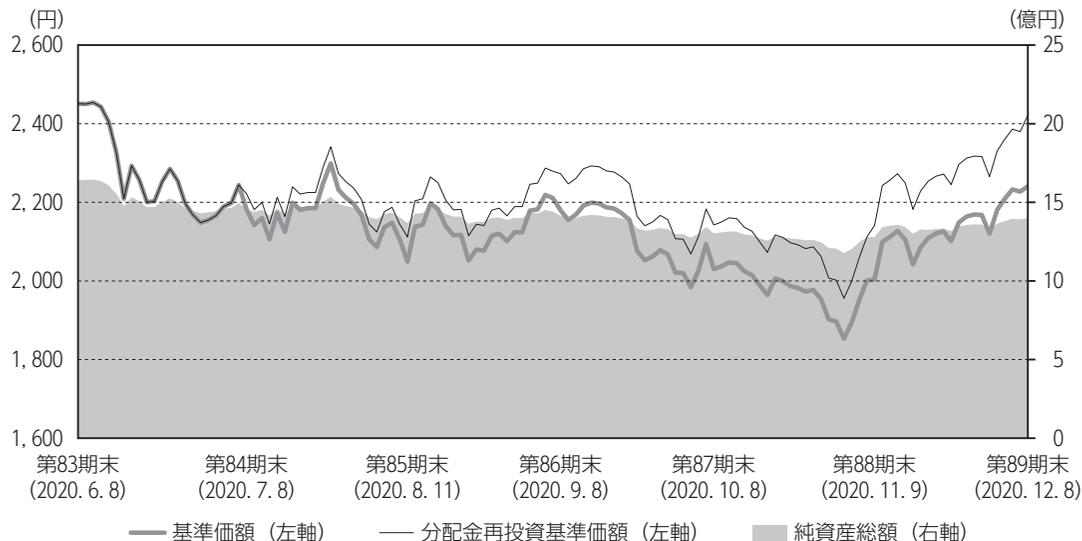
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第84期首：2,451円

第89期末：2,241円（既払分配金165円）

騰落率：△1.2%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は下落しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／ブラジル・リアル買い）は、ブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となったものの、プレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第84期	(期首) 2020年 6 月 8 日	2,451	—	14,842	—	22.07	—	—	99.3
	6 月 末	2,148	△ 12.4	14,260	△ 3.9	19.93	△ 9.7	—	98.6
	(期末) 2020年 7 月 8 日	2,222	△ 9.3	14,467	△ 2.5	20.00	△ 9.4	—	98.6
第85期	(期首) 2020年 7 月 8 日	2,182	—	14,467	—	20.00	—	—	98.6
	7 月 末	2,168	△ 0.6	14,170	△ 2.1	20.28	1.4	—	99.5
	(期末) 2020年 8 月 11 日	2,074	△ 4.9	14,237	△ 1.6	19.37	△ 3.2	—	98.0
第86期	(期首) 2020年 8 月 11 日	2,049	—	14,237	—	19.37	—	—	98.0
	8 月 末	2,124	3.7	14,772	3.8	19.55	0.9	—	99.3
	(期末) 2020年 9 月 8 日	2,205	7.6	14,817	4.1	20.05	3.5	—	98.0
第87期	(期首) 2020年 9 月 8 日	2,180	—	14,817	—	20.05	—	—	98.0
	9 月 末	2,068	△ 5.1	15,262	3.0	18.77	△ 6.4	—	99.1
	(期末) 2020年 10 月 8 日	2,055	△ 5.7	15,155	2.3	18.90	△ 5.7	—	98.1
第88期	(期首) 2020年 10 月 8 日	2,030	—	15,155	—	18.90	—	—	98.1
	10 月 末	1,897	△ 6.6	14,828	△ 2.2	18.09	△ 4.3	—	99.1
	(期末) 2020年 11 月 9 日	2,029	△ 0.0	15,266	0.7	19.22	1.7	—	98.2
第89期	(期首) 2020年 11 月 9 日	2,004	—	15,266	—	19.22	—	—	98.2
	11 月 末	2,168	8.2	16,444	7.7	19.46	1.2	—	98.4
	(期末) 2020年 12 月 8 日	2,266	13.1	16,207	6.2	20.37	6.0	—	99.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 6. 9 ～ 2020. 12. 8）

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、当作成期首より上値が重い展開となりました。当作成期中には安倍首相の辞任が正式に発表されて株式市況は大幅に下落したものの、菅官房長官の自民党総裁選挙での優位が伝えられると、政策の継続性という安心感から株価は一進一退となりました。2020年11月には、米国大統領選挙を無事に終了した安心感と新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感から大きく上昇しました。

### 為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

ブラジル・リアルの対円為替相場は、当作成期首から、新型コロナウイルスの感染急拡大、財政悪化に対する懸念、そして政治への不信などから下落しました。2020年11月に入り、新型コロナウイルスのワクチンに関する報道や米国大統領選挙が無事に終了したことなどからリスク選好姿勢が高まり、値を戻す展開となりました。

### 短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を3.00%から2.00%に引き下げました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

### ■クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 6. 9 ~ 2020. 12. 8)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、当作成期首比では上昇したものの、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP 1 X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。また、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

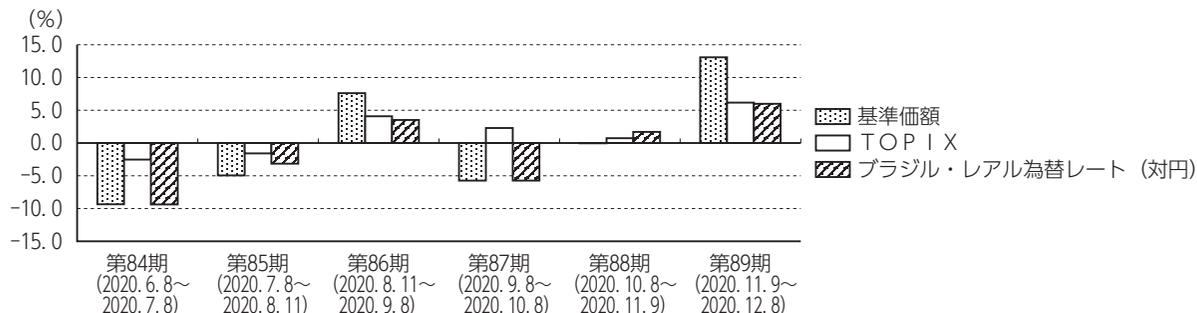
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>40</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>25</b>
対基準価額比率 (%)	1.80	1.21	1.13	1.22	1.23	1.10
当期の収益 (円)	19	25	25	25	25	18
当期の収益以外 (円)	20	—	—	—	—	6
翌期繰越分配対象額 (円)	1,122	1,132	1,139	1,145	1,155	1,148

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 19.01円	✓ 34.74円	✓ 32.26円	✓ 30.63円	✓ 35.19円	✓ 18.21円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,042.34	1,043.12	1,043.32	1,044.19	1,045.16	1,045.41
(d) 分配準備積立金	✓ 101.10	79.35	88.90	95.31	100.18	✓ 110.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,162.47	1,157.22	1,164.50	1,170.14	1,180.55	1,173.77
(f) 分配金	40.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,122.47	1,132.22	1,139.50	1,145.14	1,155.55	1,148.77

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。
 

日本円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020. 6. 9～2020. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0.742%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は2,131円です。</b>
(投 信 会 社)	(6)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.467)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	16	0.745	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

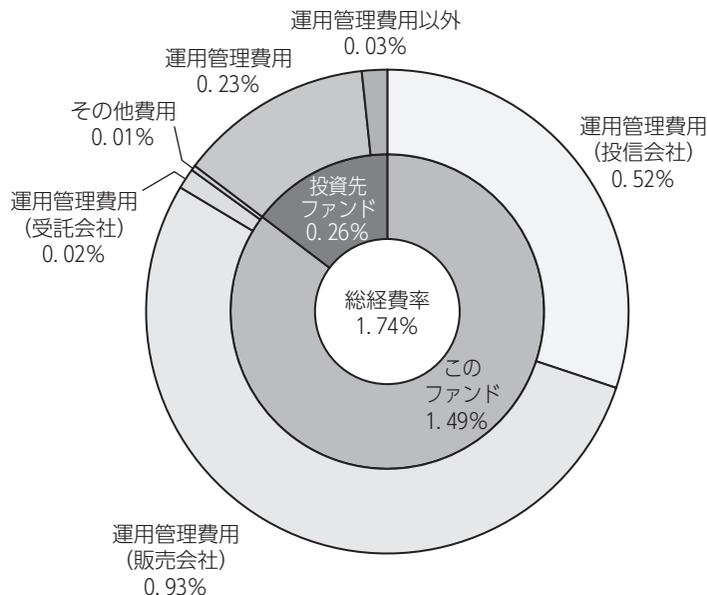
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.74%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 6,239.869915	千円 132,839	千口 10,057.80793	千円 217,400

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

第 84 期 ~				第 89 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 618.019688	千円 14,000	円 22	CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 10,057.80793	千円 217,400	円 21

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS	千口 61,232.009335	千円 1,397,375	% 99.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,397,375	% 98.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	20,695	1.5
投資信託財産総額	1,418,470	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,482,825,472円</b>	<b>1,386,546,737円</b>	<b>1,473,126,843円</b>	<b>1,321,481,819円</b>	<b>1,297,836,420円</b>	<b>1,447,770,726円</b>
コール・ローン等	48,982,452	45,839,698	28,451,517	43,749,231	40,678,048	20,695,879
投資信託受益証券 (評価額)	1,433,443,778	1,340,307,797	1,387,676,125	1,277,333,386	1,256,759,170	1,397,375,685
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,242	399,242	399,202	399,202	399,202	399,162
未収入金	—	—	56,599,999	—	—	29,300,000
<b>(B) 負債</b>	<b>28,521,615</b>	<b>19,209,406</b>	<b>57,730,401</b>	<b>19,580,005</b>	<b>17,735,032</b>	<b>47,512,087</b>
未払金	—	—	28,300,000	—	—	29,300,000
未払収益分配金	26,658,724	16,685,576	16,233,552	16,036,020	15,972,958	15,623,818
未払解約金	763	483,866	11,549,233	1,835,289	64,877	935,038
未払信託報酬	1,851,774	2,018,575	1,617,236	1,669,094	1,648,541	1,595,755
その他未払費用	10,354	21,389	30,380	39,602	48,656	57,476
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>1,454,303,857</b>	<b>1,367,337,331</b>	<b>1,415,396,442</b>	<b>1,301,901,814</b>	<b>1,280,101,388</b>	<b>1,400,258,639</b>
元本	6,664,681,066	6,674,230,524	6,493,420,824	6,414,408,358	6,389,183,428	6,249,527,333
次期繰越損益金	△ 5,210,377,209	△ 5,306,893,193	△ 5,078,024,382	△ 5,112,506,544	△ 5,109,082,040	△ 4,849,268,694
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>6,664,681,066口</b>	<b>6,674,230,524口</b>	<b>6,493,420,824口</b>	<b>6,414,408,358口</b>	<b>6,389,183,428口</b>	<b>6,249,527,333口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	2,182円	2,049円	2,180円	2,030円	2,004円	2,241円

\* 第83期末における元本額は6,691,139,834円、当作成期間 (第84期~第89期) 中における追加設定元本額は221,702,404円、同解約元本額は663,314,905円です。

\* 第89期末の計算口数当りの純資産額は2,241円です。

\* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,849,268,694円です。

■損益の状況

第84期 自 2020年6月9日 至 2020年7月8日      第86期 自 2020年8月12日 至 2020年9月8日      第88期 自 2020年10月9日 至 2020年11月9日

第85期 自 2020年7月9日 至 2020年8月11日      第87期 自 2020年9月9日 至 2020年10月8日      第89期 自 2020年11月10日 至 2020年12月8日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>14,535,610円</b>	<b>25,218,386円</b>	<b>21,290,563円</b>	<b>21,330,564円</b>	<b>24,147,387円</b>	<b>11,496,851円</b>
受取配当金	14,536,579	25,218,966	21,291,512	21,331,663	24,147,868	11,497,515
受取利息	52	28	24	31	—	30
支払利息	△ 1,021	△ 608	△ 973	△ 1,130	△ 481	△ 694
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 164,935,750</b>	<b>△ 95,548,952</b>	<b>81,651,271</b>	<b>△ 99,954,171</b>	<b>△ 22,709,786</b>	<b>153,829,703</b>
売買益	475,671	189,575	83,168,845	383,183	445,450	155,186,120
売買損	△ 165,411,421	△ 95,738,527	△ 1,517,574	△ 100,337,354	△ 23,155,236	△ 1,356,417
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,862,005</b>	<b>△ 2,029,733</b>	<b>△ 1,626,227</b>	<b>△ 1,678,316</b>	<b>△ 1,657,649</b>	<b>△ 1,604,575</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 152,262,145</b>	<b>△ 72,360,299</b>	<b>101,315,607</b>	<b>△ 80,301,923</b>	<b>△ 220,048</b>	<b>163,721,979</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 4,023,290,529</b>	<b>△ 4,167,825,115</b>	<b>△ 4,132,787,201</b>	<b>△ 3,962,469,182</b>	<b>△ 4,012,166,948</b>	<b>△ 3,931,398,840</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,008,165,811</b>	<b>△ 1,050,022,203</b>	<b>△ 1,030,319,236</b>	<b>△ 1,053,699,419</b>	<b>△ 1,080,722,086</b>	<b>△ 1,065,968,015</b>
(配当等相当額)	( 694,691,247)	( 696,208,840)	( 677,475,256)	( 669,790,370)	( 667,775,796)	( 653,337,747)
(売買損益相当額)	(△ 1,702,857,058)	(△ 1,746,231,043)	(△ 1,707,794,492)	(△ 1,723,489,789)	(△ 1,748,497,882)	(△ 1,719,305,762)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 5,183,718,485</b>	<b>△ 5,290,207,617</b>	<b>△ 5,061,790,830</b>	<b>△ 5,096,470,524</b>	<b>△ 5,093,109,082</b>	<b>△ 4,833,644,876</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>26,658,724</b>	<b>16,685,576</b>	<b>16,233,552</b>	<b>16,036,020</b>	<b>15,972,958</b>	<b>15,623,818</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,210,377,209	△ 5,306,893,193	△ 5,078,024,382	△ 5,112,506,544	△ 5,109,082,040	△ 4,849,268,694
追加信託差損益金	△ 1,008,165,811	△ 1,050,022,203	△ 1,030,319,236	△ 1,053,699,419	△ 1,080,722,086	△ 1,065,968,015
(配当等相当額)	( 694,691,247)	( 696,208,840)	( 677,475,256)	( 669,790,370)	( 667,775,796)	( 653,337,747)
(売買損益相当額)	(△ 1,702,857,058)	(△ 1,746,231,043)	(△ 1,707,794,492)	(△ 1,723,489,789)	(△ 1,748,497,882)	(△ 1,719,305,762)
分配準備積立金	53,399,796	59,465,899	62,453,216	64,754,298	70,526,976	64,590,927
繰越損益金	△ 4,255,611,194	△ 4,316,336,889	△ 4,110,158,362	△ 4,123,561,423	△ 4,098,886,930	△ 3,847,891,606

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,673,593円	23,188,644円	20,954,248円	19,652,232円	22,489,732円	11,385,328円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	694,691,247	696,208,840	677,475,256	669,790,370	667,775,796	653,337,747
(d) 分配準備積立金	67,384,927	52,962,831	57,732,520	61,138,086	64,010,202	68,829,417
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	774,749,767	772,360,315	756,162,024	750,580,688	754,275,730	733,552,492
(f) 分配金	26,658,724	16,685,576	16,233,552	16,036,020	15,972,958	15,623,818
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	748,091,043	755,674,739	739,928,472	734,544,668	738,302,772	717,928,674
(h) 受益権総口数	6,664,681,066□	6,674,230,524□	6,493,420,824□	6,414,408,358□	6,389,183,428□	6,249,527,333□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
		40円	25円	25円	25円	25円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 米ドル・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		米ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
60期末(2018年7月9日)	9,940	60	△ 4.5	15,570	△ 5.4	110.49	0.6	0.0	98.7	4,097
61期末(2018年8月8日)	10,440	60	5.6	16,072	3.2	111.45	0.9	0.0	98.9	4,226
62期末(2018年9月10日)	9,965	60	△ 4.0	15,504	△ 3.5	110.93	△ 0.5	—	98.8	4,014
63期末(2018年10月9日)	10,754	60	8.5	16,501	6.4	112.97	1.8	—	98.8	4,285
64期末(2018年11月8日)	9,843	60	△ 7.9	15,210	△ 7.8	113.63	0.6	—	99.1	3,972
65期末(2018年12月10日)	9,569	60	△ 2.2	14,916	△ 1.9	112.52	△ 1.0	—	99.4	3,787
66期末(2019年1月8日)	8,657	60	△ 8.9	13,922	△ 6.7	108.79	△ 3.3	—	98.7	3,371
67期末(2019年2月8日)	9,102	60	5.8	14,442	3.7	109.84	1.0	—	98.0	3,443
68期末(2019年3月8日)	9,243	60	2.2	14,743	2.1	111.58	1.6	0.0	98.6	3,442
69期末(2019年4月8日)	9,659	60	5.1	14,965	1.5	111.44	△ 0.1	—	98.9	3,500
70期末(2019年5月8日)	9,294	60	△ 3.2	14,726	△ 1.6	110.19	△ 1.1	—	98.5	3,326
71期末(2019年6月10日)	8,701	60	△ 5.7	14,105	△ 4.2	108.52	△ 1.5	—	99.2	3,026
72期末(2019年7月8日)	9,129	60	5.6	14,659	3.9	108.54	0.0	—	98.4	3,164
73期末(2019年8月8日)	8,358	60	△ 7.8	13,806	△ 5.8	106.11	△ 2.2	—	98.3	2,808
74期末(2019年9月9日)	8,683	60	4.6	14,149	2.5	106.95	0.8	—	98.6	2,820
75期末(2019年10月8日)	8,687	60	0.7	14,477	2.3	107.39	0.4	—	98.8	2,759
76期末(2019年11月8日)	9,564	60	10.8	15,631	8.0	109.39	1.9	—	97.0	2,996
77期末(2019年12月9日)	9,495	60	△ 0.1	15,771	0.9	108.60	△ 0.7	—	97.1	2,941
78期末(2020年1月8日)	9,530	60	1.0	15,879	0.7	107.83	△ 0.7	—	97.9	2,850
79期末(2020年2月10日)	9,585	60	1.2	15,944	0.4	109.67	1.7	—	98.5	2,820
80期末(2020年3月9日)	7,872	60	△ 17.2	13,544	△ 15.0	102.01	△ 7.0	—	99.3	2,275
81期末(2020年4月8日)	7,680	60	△ 1.7	12,916	△ 4.6	108.67	6.5	—	99.0	2,172
82期末(2020年5月8日)	7,542	60	△ 1.0	13,133	1.7	106.36	△ 2.1	—	99.3	2,136
83期末(2020年6月8日)	8,591	60	14.7	14,842	13.0	109.48	2.9	—	99.5	2,403
84期末(2020年7月8日)	8,287	60	△ 2.8	14,467	△ 2.5	107.69	△ 1.6	—	99.0	2,278
85期末(2020年8月11日)	7,952	60	△ 3.3	14,237	△ 1.6	106.17	△ 1.4	—	98.2	2,116
86期末(2020年9月8日)	8,266	60	4.7	14,817	4.1	106.31	0.1	—	98.1	2,170
87期末(2020年10月8日)	8,193	60	△ 0.2	15,155	2.3	106.07	△ 0.2	—	99.1	2,147
88期末(2020年11月9日)	7,940	60	△ 2.4	15,266	0.7	103.35	△ 2.6	—	99.2	2,057
89期末(2020年12月8日)	8,294	60	5.2	16,207	6.2	104.09	0.7	—	99.2	2,109

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日目の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

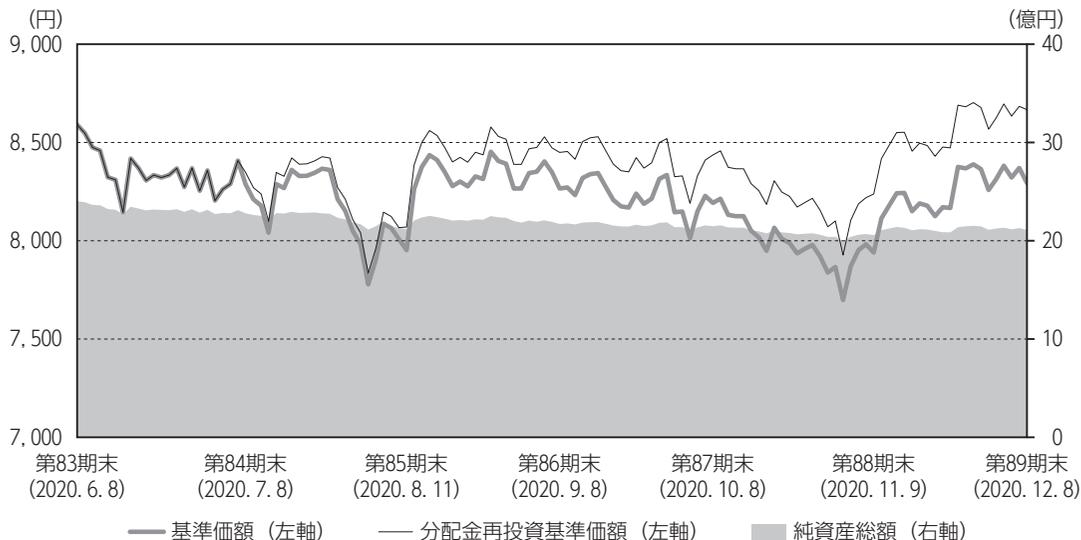
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第84期首：8,591円

第89期末：8,294円（既払分配金360円）

騰落率：0.9%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／米ドル買い）は、米ドルが対円で下落（円高）したことはマイナス要因だったものの、プレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因になりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		米ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第84期	(期首) 2020年 6月 8日	8,591	—	14,842	—	109.48	—	—	99.5
	6月末	8,254	△ 3.9	14,260	△ 3.9	107.74	△ 1.6	—	99.6
	(期末) 2020年 7月 8日	8,347	△ 2.8	14,467	△ 2.5	107.69	△ 1.6	—	99.0
第85期	(期首) 2020年 7月 8日	8,287	—	14,467	—	107.69	—	—	99.0
	7月末	7,983	△ 3.7	14,170	△ 2.1	104.60	△ 2.9	—	99.3
	(期末) 2020年 8月 11日	8,012	△ 3.3	14,237	△ 1.6	106.17	△ 1.4	—	98.2
第86期	(期首) 2020年 8月 11日	7,952	—	14,237	—	106.17	—	—	98.2
	8月末	8,266	3.9	14,772	3.8	105.36	△ 0.8	—	98.3
	(期末) 2020年 9月 8日	8,326	4.7	14,817	4.1	106.31	0.1	—	98.1
第87期	(期首) 2020年 9月 8日	8,266	—	14,817	—	106.31	—	—	98.1
	9月末	8,335	0.8	15,262	3.0	105.80	△ 0.5	—	98.2
	(期末) 2020年 10月 8日	8,253	△ 0.2	15,155	2.3	106.07	△ 0.2	—	99.1
第88期	(期首) 2020年 10月 8日	8,193	—	15,155	—	106.07	—	—	99.1
	10月末	7,867	△ 4.0	14,828	△ 2.2	104.60	△ 1.4	—	98.4
	(期末) 2020年 11月 9日	8,000	△ 2.4	15,266	0.7	103.35	△ 2.6	—	99.2
第89期	(期首) 2020年 11月 9日	7,940	—	15,266	—	103.35	—	—	99.2
	11月末	8,365	5.4	16,444	7.7	103.89	0.5	—	97.6
	(期末) 2020年 12月 8日	8,354	5.2	16,207	6.2	104.09	0.7	—	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 6. 9～2020. 12. 8）

### 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、当作成期首より上値が重い展開となりました。当作成期中には安倍首相の辞任が正式に発表されて株式市況は大幅に下落したものの、菅官房長官の自民党総裁選挙での優位が伝えられると、政策の継続性という安心感から株価は一進一退となりました。2020年11月には、米国大統領選挙を無事に終了した安心感と新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感から大きく上昇しました。

### 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドルの対円為替相場は、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念によってリスク回避となると米ドル安円高が進み、米国金利が低下するとさらに円高は進行しました。2020年11月には米国で“ねじれ議会”となる見通しが高まり、大規模な財政出動を目的とした国債増発懸念が後退すると、米国長期金利が低下し、日米金利差の縮小観測による円買い／米ドル売りが優勢となりました。

### 短期金利市況

米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25%に据え置きました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

### ■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2020. 6. 9 ~ 2020. 12. 8)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、当作成期首比では上昇したものの、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP 1 X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。また、オプション取引についてはマイナスとなりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。

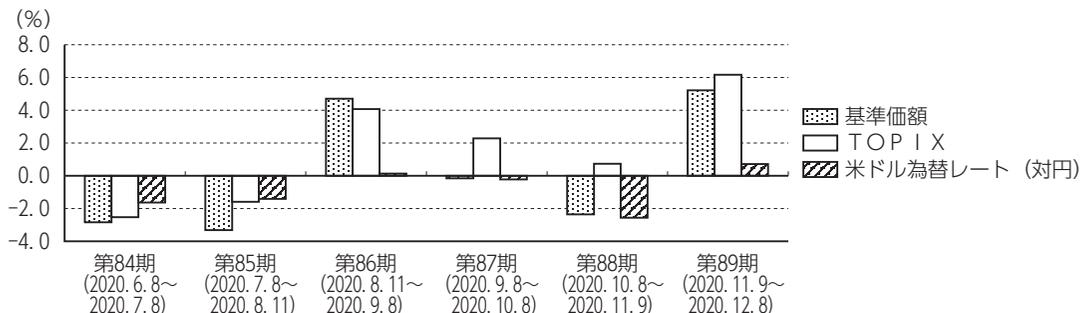
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>	<b>60</b>
対基準価額比率 (%)	0.72	0.75	0.72	0.73	0.75	0.72
当期の収益 (円)	56	60	60	60	60	60
当期の収益以外 (円)	3	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,834	5,845	5,862	5,871	5,900	5,905

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 56.07円	✓ 70.24円	✓ 77.08円	✓ 69.64円	✓ 89.06円	✓ 64.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,950.76	1,960.28	1,973.35	1,982.17	1,991.78	2,020.14
(d) 分配準備積立金	✓ 3,888.04	3,874.61	3,871.78	3,880.06	3,880.09	3,881.08
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	5,894.89	5,905.14	5,922.23	5,931.88	5,960.94	5,965.50
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	5,834.89	5,845.14	5,862.23	5,871.88	5,900.94	5,905.50

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーファンド（米ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。
 

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020. 6. 9～2020. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	61円	0. 746%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 217円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0. 264)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0. 468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	62	0. 749	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

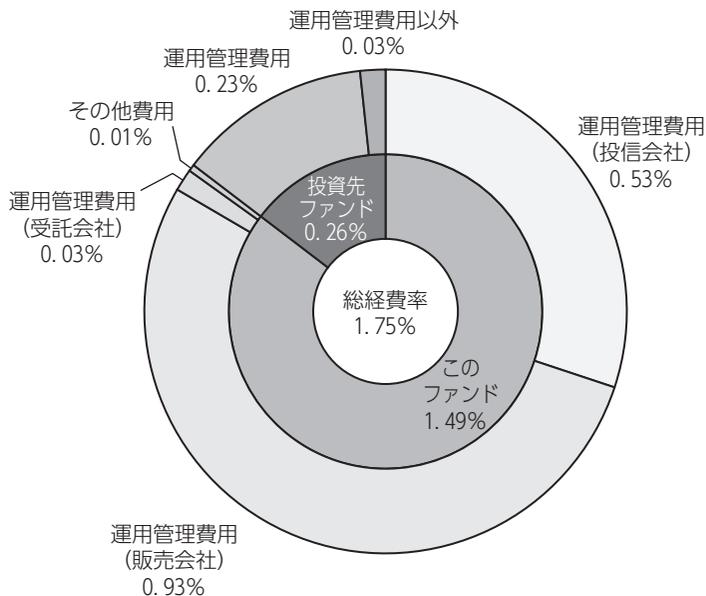
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

（2020年6月9日から2020年12月8日まで）

決算期	第84期～第89期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 1,925.241486	千円 125,631	千口 4,956.174896	千円 324,100

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

（2020年6月9日から2020年12月8日まで）

銘柄	第84期～			第89期		
	買付			売付		
	□数	金額	平均単価	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS（ケイマン諸島）	4,956.174896	324,100	65			

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第89期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS	千口 31,624.28867	千円 2,092,927	% 99.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第83期末	第89期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項目	第89期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 2,092,927	% 98.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	34,357	1.6
投資信託財産総額	2,127,683	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,309,320,666円</b>	<b>2,180,188,637円</b>	<b>2,189,663,977円</b>	<b>2,168,749,329円</b>	<b>2,076,441,655円</b>	<b>2,127,683,234円</b>
コール・ローン等	52,734,436	102,409,720	60,472,830	40,574,079	34,993,289	34,357,024
投資信託受益証券 (評価額)	2,256,186,988	2,077,379,675	2,128,791,945	2,127,776,048	2,041,049,164	2,092,927,048
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,242	399,242	399,202	399,202	399,202	399,162
<b>(B) 負債</b>	<b>30,418,706</b>	<b>63,702,065</b>	<b>19,136,022</b>	<b>21,481,217</b>	<b>19,105,018</b>	<b>17,862,246</b>
未払収益分配金	16,499,344	15,969,286	15,754,821	15,725,840	15,546,499	15,263,205
未払解約金	11,067,115	44,607,200	801,051	3,050,237	761,941	83
未払信託報酬	2,836,326	3,092,783	2,533,208	2,643,580	2,720,117	2,508,626
その他未払費用	15,921	32,796	46,942	61,560	76,461	90,332
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,278,901,960</b>	<b>2,116,486,572</b>	<b>2,170,527,955</b>	<b>2,147,268,112</b>	<b>2,057,336,637</b>	<b>2,109,820,988</b>
元本	2,749,890,778	2,661,547,716	2,625,803,594	2,620,973,427	2,591,083,250	2,543,867,641
次期繰越損益金	△ 470,988,818	△ 545,061,144	△ 455,275,639	△ 473,705,315	△ 533,746,613	△ 434,046,653
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,749,890,778口</b>	<b>2,661,547,716口</b>	<b>2,625,803,594口</b>	<b>2,620,973,427口</b>	<b>2,591,083,250口</b>	<b>2,543,867,641口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>8,287円</b>	<b>7,952円</b>	<b>8,266円</b>	<b>8,193円</b>	<b>7,940円</b>	<b>8,294円</b>

\*第83期末における元本額は2,797,141,251円、当作成期間 (第84期～第89期) 中における追加設定元本額は53,227,290円、同解約元本額は306,500,900円です。

\*第89期末の計算口数当りの純資産額は8,294円です。

\*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は434,046,653円です。

■損益の状況

第84期 自 2020年6月9日 至 2020年7月8日      第86期 自 2020年8月12日 至 2020年9月8日      第88期 自 2020年10月9日 至 2020年11月9日  
 第85期 自 2020年7月9日 至 2020年8月11日      第87期 自 2020年9月9日 至 2020年10月8日      第89期 自 2020年11月10日 至 2020年12月8日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>18,272,517円</b>	<b>21,806,019円</b>	<b>20,766,853円</b>	<b>20,912,058円</b>	<b>25,811,417円</b>	<b>16,743,419円</b>
受取配当金	18,273,540	21,806,768	20,768,569	20,914,128	25,812,048	16,744,204
受取利息	38	53	77	82	—	62
支払利息	△ 1,061	△ 802	△ 1,793	△ 2,152	△ 631	△ 847
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 82,528,006</b>	<b>△ 91,923,622</b>	<b>79,991,557</b>	<b>△ 21,794,422</b>	<b>△ 72,969,579</b>	<b>90,485,744</b>
売買益	1,396,710	1,662,496	81,275,679	146,687	780,058	92,004,464
売買損	△ 83,924,716	△ 93,586,118	△ 1,284,122	△ 21,941,109	△ 73,749,637	△ 1,518,720
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,852,016</b>	<b>△ 3,109,889</b>	<b>△ 2,547,354</b>	<b>△ 2,658,198</b>	<b>△ 2,735,156</b>	<b>△ 2,522,497</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 67,107,505</b>	<b>△ 73,227,492</b>	<b>98,211,056</b>	<b>△ 3,540,562</b>	<b>△ 49,893,318</b>	<b>104,706,666</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 602,226,637</b>	<b>△ 662,174,458</b>	<b>△ 738,786,760</b>	<b>△ 653,638,498</b>	<b>△ 663,587,690</b>	<b>△ 710,602,918</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>214,844,668</b>	<b>206,310,092</b>	<b>201,054,886</b>	<b>199,199,585</b>	<b>195,280,894</b>	<b>187,112,804</b>
(配当等相当額)	( 536,439,820)	( 521,739,391)	( 518,165,013)	( 519,522,580)	( 516,088,490)	( 513,898,546)
(売買損益相当額)	(△ 321,595,152)	(△ 315,429,299)	(△ 317,110,127)	(△ 320,322,995)	(△ 320,807,596)	(△ 326,785,742)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 454,489,474</b>	<b>△ 529,091,858</b>	<b>△ 439,520,818</b>	<b>△ 457,979,475</b>	<b>△ 518,200,114</b>	<b>△ 418,783,448</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 16,499,344</b>	<b>△ 15,969,286</b>	<b>△ 15,754,821</b>	<b>△ 15,725,840</b>	<b>△ 15,546,499</b>	<b>△ 15,263,205</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 470,988,818	△ 545,061,144	△ 455,275,639	△ 473,705,315	△ 533,746,613	△ 434,046,653
追加信託差損益金	214,844,668	206,310,092	201,054,886	199,199,585	195,280,894	187,112,804
(配当等相当額)	( 536,439,820)	( 521,739,391)	( 518,165,013)	( 519,522,580)	( 516,088,490)	( 513,898,546)
(売買損益相当額)	(△ 321,595,152)	(△ 315,429,299)	(△ 317,110,127)	(△ 320,322,995)	(△ 320,807,596)	(△ 326,785,742)
分配準備積立金	1,068,091,744	1,033,972,890	1,021,142,224	1,019,481,876	1,012,895,631	988,383,334
繰越損益金	△ 1,753,925,230	△ 1,785,344,126	△ 1,677,472,749	△ 1,692,386,776	△ 1,741,923,138	△ 1,609,542,791

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,420,489円	18,696,121円	20,241,832円	18,253,844円	23,076,256円	16,349,652円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	536,439,820	521,739,391	518,165,013	519,522,580	516,088,490	513,898,546
(d) 分配準備積立金	1,069,170,599	1,031,246,055	1,016,655,213	1,016,953,872	1,005,365,874	987,296,887
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,621,030,908	1,571,681,567	1,555,062,058	1,554,730,296	1,544,530,620	1,517,545,085
(f) 分配金	16,499,344	15,969,286	15,754,821	15,725,840	15,546,499	15,263,205
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,604,531,564	1,555,712,281	1,539,307,237	1,539,004,456	1,528,984,121	1,502,281,880
(h) 受益権総口数	2,749,890,778□	2,661,547,716□	2,625,803,594□	2,620,973,427□	2,591,083,250□	2,543,867,641□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
		60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2018年7月9日)	3,995	100	△ 5.1	15,570	△ 5.4	0.0	98.5	5,292
61期末(2018年8月8日)	4,032	100	3.4	16,072	3.2	0.0	98.8	5,228
62期末(2018年9月10日)	3,565	70	△ 9.8	15,504	△ 3.5	—	99.5	4,509
63期末(2018年10月9日)	3,847	70	9.9	16,501	6.4	—	99.4	4,724
64期末(2018年11月8日)	3,570	70	△ 5.4	15,210	△ 7.8	—	99.1	4,312
65期末(2018年12月10日)	3,466	70	△ 1.0	14,916	△ 1.9	—	99.1	4,116
66期末(2019年1月8日)	3,131	70	△ 7.6	13,922	△ 6.7	—	98.6	3,689
67期末(2019年2月8日)	3,276	70	6.9	14,442	3.7	—	99.0	3,837
68期末(2019年3月8日)	3,283	40	1.4	14,743	2.1	0.0	98.5	3,805
69期末(2019年4月8日)	3,475	40	7.1	14,965	1.5	—	98.8	3,794
70期末(2019年5月8日)	3,278	40	△ 4.5	14,726	△ 1.6	—	99.3	3,497
71期末(2019年6月10日)	3,093	40	△ 4.4	14,105	△ 4.2	—	98.6	3,237
72期末(2019年7月8日)	3,303	40	8.1	14,659	3.9	—	98.6	3,403
73期末(2019年8月8日)	2,972	40	△ 8.8	13,806	△ 5.8	—	98.5	3,005
74期末(2019年9月9日)	3,056	40	4.2	14,149	2.5	—	98.7	3,014
75期末(2019年10月8日)	3,044	40	0.9	14,477	2.3	—	98.4	2,826
76期末(2019年11月8日)	3,373	40	12.1	15,631	8.0	—	96.9	3,047
77期末(2019年12月9日)	3,324	40	△ 0.3	15,771	0.9	—	97.6	2,900
78期末(2020年1月8日)	3,332	40	1.4	15,879	0.7	—	97.4	2,848
79期末(2020年2月10日)	3,326	40	1.0	15,944	0.4	—	99.4	2,824
80期末(2020年3月9日)	2,619	40	△ 20.1	13,544	△ 15.0	—	99.7	2,188
81期末(2020年4月8日)	2,302	40	△ 10.6	12,916	△ 4.6	—	98.2	1,894
82期末(2020年5月8日)	2,227	40	△ 1.5	13,133	1.7	—	99.4	1,835
83期末(2020年6月8日)	2,668	40	21.6	14,842	13.0	—	99.1	2,201
84期末(2020年7月8日)	2,514	40	△ 4.3	14,467	△ 2.5	—	98.7	2,035
85期末(2020年8月11日)	2,333	40	△ 5.6	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,863
86期末(2020年9月8日)	2,414	40	5.2	14,817	4.1	—	98.0	1,887
87期末(2020年10月8日)	2,336	40	△ 1.6	15,155	2.3	—	98.0	1,797
88期末(2020年11月9日)	2,250	40	△ 2.0	15,266	0.7	—	98.1	1,713
89期末(2020年12月8日)	2,405	40	8.7	16,207	6.2	—	98.3	1,807

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

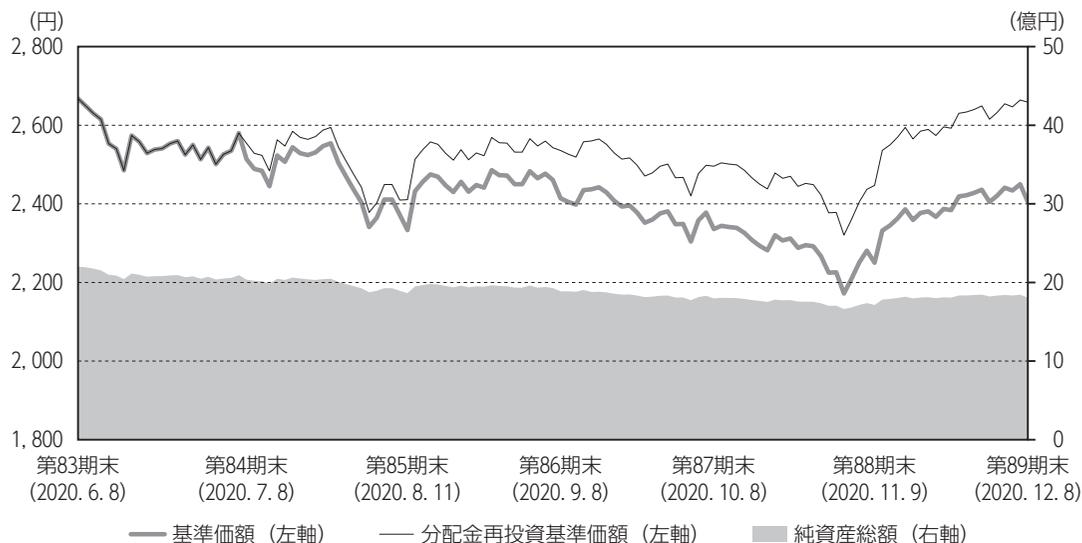
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第84期首：2,668円

第89期末：2,405円（既払分配金240円）

騰落率：△0.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額はほぼ横ばいとなりました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／選定通貨（※）買い）は、選定通貨が対円でまちまちな結果となった一方、プレミアム（金利差相当分の収益）はプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第84期	(期首) 2020年 6 月 8 日	円 2,668	% —	14,842	% —	% —	% 99.1
	6 月末	2,513	△ 5.8	14,260	△ 3.9	—	99.4
	(期末) 2020年 7 月 8 日	2,554	△ 4.3	14,467	△ 2.5	—	98.7
第85期	(期首) 2020年 7 月 8 日	2,514	—	14,467	—	—	98.7
	7 月末	2,404	△ 4.4	14,170	△ 2.1	—	98.7
	(期末) 2020年 8 月 11 日	2,373	△ 5.6	14,237	△ 1.6	—	98.1
第86期	(期首) 2020年 8 月 11 日	2,333	—	14,237	—	—	98.1
	8 月末	2,450	5.0	14,772	3.8	—	99.4
	(期末) 2020年 9 月 8 日	2,454	5.2	14,817	4.1	—	98.0
第87期	(期首) 2020年 9 月 8 日	2,414	—	14,817	—	—	98.0
	9 月末	2,381	△ 1.4	15,262	3.0	—	99.6
	(期末) 2020年 10 月 8 日	2,376	△ 1.6	15,155	2.3	—	98.0
第88期	(期首) 2020年 10 月 8 日	2,336	—	15,155	—	—	98.0
	10 月末	2,226	△ 4.7	14,828	△ 2.2	—	98.5
	(期末) 2020年 11 月 9 日	2,290	△ 2.0	15,266	0.7	—	98.1
第89期	(期首) 2020年 11 月 9 日	2,250	—	15,266	—	—	98.1
	11 月末	2,436	8.3	16,444	7.7	—	98.8
	(期末) 2020年 12 月 8 日	2,445	8.7	16,207	6.2	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2020. 6. 9 ～ 2020. 12. 8）

### ■国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、当作成期首より上値が重い展開となりました。当作成期中には安倍首相の辞任が正式に発表されて株式市況は大幅に下落したものの、菅官房長官の自民党総裁選挙での優位が伝えられると、政策の継続性という安心感から株価は一進一退となりました。2020年11月には、米国大統領選挙を無事に終了した安心感と新型コロナウイルスのワクチン開発への期待感から大きく上昇しました。

### ■為替相場

選定通貨は対円でまちまちの結果となりました。

選定通貨の対円為替相場は、当作成期首から2020年10月末にかけては、新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念が高まったことで、おおむね下落（円高）しました。しかしその後は、新型コロナウイルスのワクチンに高い有効性が認められたとの報道を受けて市場のリスク選好度が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇（円安）しました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、コロンビア・ペソは対円で下落しました。一方で、南アフリカ・ランド、メキシコ・ペソ、中国・人民元、ルーマニア・レイは対円で上昇しました。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に日本円の短期金利をおおむね上回って推移しました。日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス)：オージェンタム・トラストクロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

### ■クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

2. 為替取引を活用します。

- ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
- ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

[通貨の運用方針]

- ・原則として、「FTSE世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2020. 6. 9～2020. 12. 8）

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、当作成期首比では上昇したものの、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。また、オプション取引についてはマイナスとなりました。

選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息）収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、円建ての資産に対して、日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

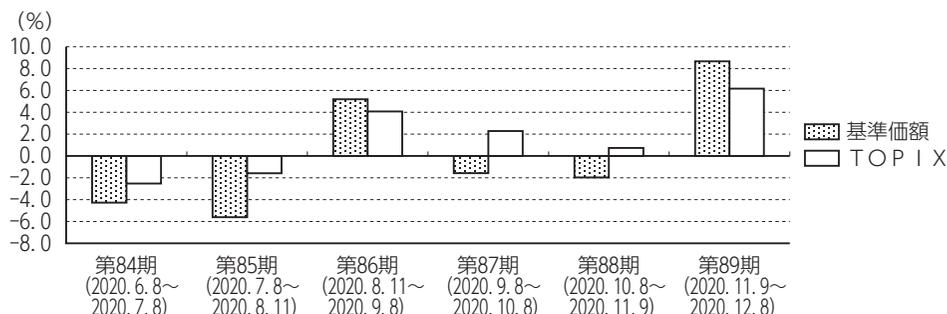
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年6月9日 ～2020年7月8日	2020年7月9日 ～2020年8月11日	2020年8月12日 ～2020年9月8日	2020年9月9日 ～2020年10月8日	2020年10月9日 ～2020年11月9日	2020年11月10日 ～2020年12月8日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>
対基準価額比率 (%)	1.57	1.69	1.63	1.68	1.75	1.64
当期の収益 (円)	32	40	40	40	40	30
当期の収益以外 (円)	7	—	—	—	—	9
翌期繰越分配対象額 (円)	682	684	686	690	696	686

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 32.22円	✓ 41.79円	✓ 41.56円	✓ 44.23円	✓ 45.65円	✓ 30.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	314.12	315.66	317.12	318.84	320.35	321.95
(d) 分配準備積立金	✓ 376.52	367.22	367.56	367.44	370.16	✓ 374.22
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	722.86	724.69	726.25	730.51	736.18	726.20
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	682.86	684.69	686.25	690.51	696.18	686.20

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
  - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
  - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
  - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
  - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。
  - ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
  - ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

#### [通貨の運用方針]

- ・原則として、「F T S E 世界国債インデックス」および「J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020. 6. 9～2020. 12. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	18円	0.744%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,422円です。
（投 信 会 社）	(6)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(11)	(0.468)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	18	0.747	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

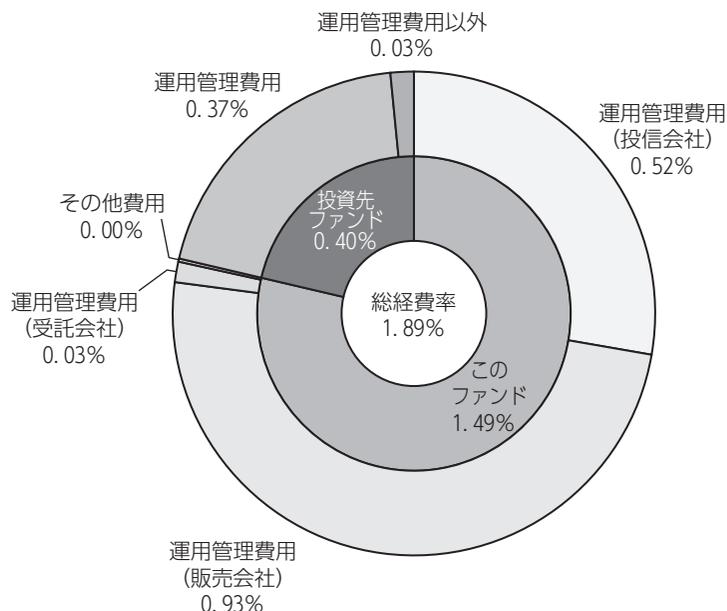
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.89%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

決算期	第84期～第89期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 8,155.386097	千円 196,091	千口 16,242.282737	千円 392,100

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2020年6月9日から2020年12月8日まで)

第84期～				第89期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
	千口	千円		CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 16,242.282737	千円 392,100	円 24

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第89期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 73,013.597012	千円 1,777,150	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第83期末	第89期末	
	□数	□数	評価額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 1,993	千口 1,993	千円 1,995

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月8日現在

項目	第89期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,777,150	% 96.3
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1,995	0.1
コール・ローン等、その他	66,911	3.6
投資信託財産総額	1,846,058	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月8日)、(2020年8月11日)、(2020年9月8日)、(2020年10月8日)、(2020年11月9日)、(2020年12月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,096,719,938円</b>	<b>1,901,170,847円</b>	<b>1,965,004,329円</b>	<b>1,833,332,791円</b>	<b>1,746,367,277円</b>	<b>1,846,058,649円</b>
コール・ローン等	45,753,233	71,492,033	37,932,914	69,753,924	63,777,185	66,911,885
投資信託受益証券 (評価額)	2,008,970,494	1,827,682,602	1,849,875,402	1,761,582,854	1,680,594,079	1,777,150,951
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	1,996,212	1,996,212	1,996,013	1,996,013	1,996,013	1,995,813
未収入金	39,999,999	—	75,200,000	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>60,931,825</b>	<b>37,911,715</b>	<b>77,425,936</b>	<b>36,102,240</b>	<b>32,812,636</b>	<b>38,463,705</b>
未払金	20,000,000	—	37,600,000	—	—	—
未払収益分配金	32,386,416	31,947,133	31,278,375	30,773,691	30,458,061	30,068,196
未払解約金	5,972,233	3,173,416	6,277,808	3,014,174	—	6,165,110
未払信託報酬	2,558,900	2,761,745	2,227,949	2,260,076	2,287,691	2,151,620
その他未払費用	14,276	29,421	41,804	54,299	66,884	78,779
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,035,788,113</b>	<b>1,863,259,132</b>	<b>1,887,578,393</b>	<b>1,797,230,551</b>	<b>1,713,554,641</b>	<b>1,807,594,944</b>
元本	8,096,604,068	7,986,783,470	7,819,593,771	7,693,422,861	7,614,515,257	7,517,049,211
次期繰越損益金	△ 6,060,815,955	△ 6,123,524,338	△ 5,932,015,378	△ 5,896,192,310	△ 5,900,960,616	△ 5,709,454,267
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>8,096,604,068口</b>	<b>7,986,783,470口</b>	<b>7,819,593,771口</b>	<b>7,693,422,861口</b>	<b>7,614,515,257口</b>	<b>7,517,049,211口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	2,514円	2,333円	2,414円	2,336円	2,250円	2,405円

\* 第83期末における元本額は8,251,259,138円、当作成期間 (第84期~第89期) 中における追加設定元本額は193,740,161円、同解約元本額は927,950,088円です。

\* 第89期末の計算口数当りの純資産額は2,405円です。

\* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,709,454,267円です。

■損益の状況

第84期 自 2020年6月9日 至 2020年7月8日 第86期 自 2020年8月12日 至 2020年9月8日 第88期 自 2020年10月9日 至 2020年11月9日

第85期 自 2020年7月9日 至 2020年8月11日 第87期 自 2020年9月9日 至 2020年10月8日 第89期 自 2020年11月10日 至 2020年12月8日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>28,661,137円</b>	<b>36,160,226円</b>	<b>33,270,478円</b>	<b>36,301,841円</b>	<b>37,067,125円</b>	<b>22,898,470円</b>
受取配当金	28,662,288	36,161,174	33,271,827	36,302,929	37,067,831	22,899,253
受取利息	35	78	23	19	—	25
支払利息	△ 1,186	△ 1,026	△ 1,372	△ 1,107	△ 706	△ 808
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 118,422,367</b>	<b>△ 146,301,449</b>	<b>63,564,461</b>	<b>△ 63,117,769</b>	<b>△ 69,542,794</b>	<b>125,289,421</b>
売買益	2,239,006	624,163	65,293,675	287,501	1,138,276	126,866,892
売買損	△ 120,661,373	△ 146,925,612	△ 1,729,214	△ 63,405,270	△ 70,681,070	△ 1,577,471
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,573,050</b>	<b>△ 2,777,016</b>	<b>△ 2,240,332</b>	<b>△ 2,272,571</b>	<b>△ 2,300,339</b>	<b>△ 2,163,515</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>△ 92,334,280</b>	<b>△ 112,918,239</b>	<b>94,594,607</b>	<b>△ 29,088,499</b>	<b>△ 34,776,008</b>	<b>146,024,376</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 5,024,517,494</b>	<b>△ 5,058,497,069</b>	<b>△ 5,074,326,288</b>	<b>△ 4,907,623,772</b>	<b>△ 4,896,620,584</b>	<b>△ 4,877,465,218</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 911,577,765</b>	<b>△ 920,161,897</b>	<b>△ 921,005,322</b>	<b>△ 928,706,348</b>	<b>△ 939,105,963</b>	<b>△ 947,945,229</b>
(配当等相当額)	( 254,336,023)	( 252,117,938)	( 247,980,692)	( 245,299,380)	( 243,933,615)	( 242,017,155)
(売買損益相当額)	(△ 1,165,913,788)	(△ 1,172,279,835)	(△ 1,168,986,014)	(△ 1,174,005,728)	(△ 1,183,039,578)	(△ 1,189,962,384)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 6,028,429,539</b>	<b>△ 6,091,577,205</b>	<b>△ 5,900,737,003</b>	<b>△ 5,865,418,619</b>	<b>△ 5,870,502,555</b>	<b>△ 5,679,386,071</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 32,386,416</b>	<b>△ 31,947,133</b>	<b>△ 31,278,375</b>	<b>△ 30,773,691</b>	<b>△ 30,458,061</b>	<b>△ 30,068,196</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 6,060,815,955	△ 6,123,524,338	△ 5,932,015,378	△ 5,896,192,310	△ 5,900,960,616	△ 5,709,454,267
追加信託差損益金	△ 911,577,765	△ 920,161,897	△ 921,005,322	△ 928,706,348	△ 939,105,963	△ 947,945,229
(配当等相当額)	( 254,336,023)	( 252,117,938)	( 247,980,692)	( 245,299,380)	( 243,933,615)	( 242,017,155)
(売買損益相当額)	(△ 1,165,913,788)	(△ 1,172,279,835)	(△ 1,168,986,014)	(△ 1,174,005,728)	(△ 1,183,039,578)	(△ 1,189,962,384)
分配準備積立金	298,556,705	294,731,477	288,644,794	285,945,011	286,174,449	273,803,261
繰越損益金	△ 5,447,794,895	△ 5,498,093,918	△ 5,299,654,850	△ 5,253,430,973	△ 5,248,029,102	△ 5,035,312,299

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	26,088,008円	33,383,147円	32,500,621円	34,029,178円	34,766,745円	22,564,160円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	254,336,023	252,117,938	247,980,692	245,299,380	243,933,615	242,017,155
(d) 分配準備積立金	304,855,113	293,295,463	287,422,548	282,689,524	281,865,765	281,307,297
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	585,279,144	578,796,548	567,903,861	562,018,082	560,566,125	545,888,612
(f) 分配金	32,386,416	31,947,133	31,278,375	30,773,691	30,458,061	30,068,196
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	552,892,728	546,849,415	536,625,486	531,244,391	530,108,064	515,820,416
(h) 受益権総口数	8,096,604,068口	7,986,783,470口	7,819,593,771口	7,693,422,861口	7,614,515,257口	7,517,049,211口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド  
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／  
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年12月8日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表  
 2020年2月29日

<b>資産</b>	
投資資産の評価額（簿価 ¥11,240,424,000）	¥ 9,297,349,600
現金および現金同等物	30,213,068
<b>資産合計</b>	<b>9,327,562,668</b>
<b>負債</b>	
スワップ取引による評価損	320,123,426
未払：	
終了したスワップ取引	23,905,351
専門家報酬	10,279,212
管理会社報酬	4,044,090
運用会社報酬	1,332,392
為替投資アドバイザー報酬	1,077,428
名義書換代理人報酬	235,724
登録料	81,288
受託会社報酬	10,280
<b>負債合計</b>	<b>361,089,191</b>
<b>純資産</b>	<b>¥ 8,966,473,477</b>
豪ドル・クラス	¥ 315,764,957
ブラジル・リアル・クラス	1,897,507,925
日本円・クラス	2,037,817,933
通貨セレクト・クラス	2,311,346,657
米ドル・クラス	2,404,036,005
	<b>¥ 8,966,473,477</b>

**発行済み受益証券**

豪ドル・クラス	7,037,313
ブラジル・リアル・クラス	67,778,394
日本円・クラス	31,720,472
通貨セレクト・クラス	82,222,893
米ドル・クラス	35,379,308

**受益証券1口当り純資産額**

豪ドル・クラス	¥	44.870
ブラジル・リアル・クラス	¥	27.996
日本円・クラス	¥	64.243
通貨セレクト・クラス	¥	28.111
米ドル・クラス	¥	67.950

**損益計算書**

2020年2月29日に終了した会計年度

**費用**

運用会社報酬	¥	19,411,767
管理会社報酬		10,784,579
専門家報酬		5,321,612
為替投資アドバイザー報酬		4,720,955
受託会社報酬		1,423,645
名義書換代理人報酬		1,210,531
支払利息		191,063
登録料		81,288
<b>費用合計</b>		<u>43,145,440</u>

**投資損失**

(43,145,440)

**実現損益および評価損益：**

**実現損益の内訳：**

証券投資	280,622,304
スワップ取引	(231,335,961)
<b>実現損益</b>	<u>49,286,343</u>

**評価損益の変動の内訳：**

証券投資	(208,141,800)
スワップ取引	(382,275,721)
外国為替先渡取引	(5,725)
<b>評価損益の変動</b>	<u>(590,423,246)</u>

**実現損益および評価損益の変動**

(541,136,903)

**運用による純資産の増減**

¥ (584,282,343)

投資明細表  
2020年2月29日

投資資産の明細	受益証券口数	純資産に占める割合	評価額
CROCI Japan Covered Call Strategy* - トータル・リターン・スワップ	137,210,000	103.69%	¥ 9,297,349,600
ストラクチャード商品合計（簿価 ¥11,240,424,000）			9,297,349,600
投資資産合計（簿価 ¥11,240,424,000）		103.69%	¥ 9,297,349,600

\*当ファンドはDeutsche Bank A.G.、ロンドン支店との間で締結したファンドの残高に評価額が運動するように出資されたパフォーマンス・スワップを通してCROCI Japan Covered Call Strategyに対するエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
AUD	Deutsche Bank A.G.	4,776,983	2020/3/31	J P Y	(346,003,324)	¥ (11,255,626)	(0.00%)

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
BRL	Deutsche Bank A.G.	85,492,550	2020/3/31	J P Y	(2,180,075,003)	¥ (137,284,801)	(0.02%)

通貨セレクト・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
IDR	Deutsche Bank A.G.	51,453,657,726	2020/3/31	J P Y	(405,777,942)	¥ (23,769,914)	(0.00%)
INR	Deutsche Bank A.G.	253,107,389	2020/3/31	J P Y	(390,239,710)	(15,735,528)	(0.00%)
MXN	Deutsche Bank A.G.	75,229,502	2020/3/31	J P Y	(433,361,034)	(24,496,419)	(0.01%)
RON	Deutsche Bank A.G.	14,404,559	2020/3/31	J P Y	(359,608,512)	(4,861,479)	(0.00%)
RUB	Deutsche Bank A.G.	237,944,291	2020/3/31	J P Y	(403,098,157)	(22,597,702)	(0.00%)
TRY	Deutsche Bank A.G.	29,472,140	2020/3/31	J P Y	(526,345,440)	(22,261,035)	(0.00%)
合計						¥ (113,722,077)	(0.01%)

米ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
USD	Deutsche Bank A.G.	23,774,328	2020/3/31	J P Y	(2,624,914,082)	¥ (57,860,922)	(0.01%)

語集：

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・リアル
IDR	インドネシア・ルピア
INR	インド・ルピー
MXN	メキシコ・ペソ
RON	ルーマニア・レイ
RUB	ロシア・ルーブル
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル

## ダイワ・マネーストック・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第89期の決算日（2020年12月8日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年6月9日～2020年12月8日現在における主要な売買銘柄はありません。

### ■組入資産明細表

2020年12月8日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネーストック・マザーファンド

## 運用報告書 第10期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

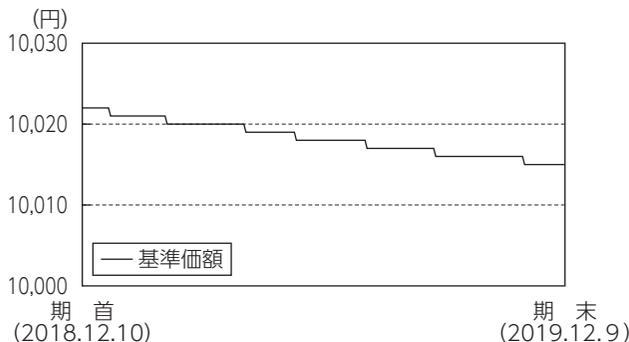
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債組入比率
	騰落率	騰落率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年1月末	10,021	△0.0	-
2月末	10,020	△0.0	-
3月末	10,020	△0.0	-
4月末	10,019	△0.0	-
5月末	10,018	△0.0	-
6月末	10,018	△0.0	-
7月末	10,017	△0.0	-
8月末	10,017	△0.0	-
9月末	10,016	△0.1	-
10月末	10,016	△0.1	-
11月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月9日	10,015	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期的国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

国 内	国債証券	買付額	売付額
		千円	千円
		250,003	(250,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

銘柄	当 期		銘柄	期	
	買付	付 金額		売付	付 金額
	柄	千円	柄	千円	千円
801 国庫短期証券 2019/3/18		250,003			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項目	当 期 末		
	評 価 額	比 率	
	千円		%
コール・ローン等、その他	103,888,808		100.0
投資信託財産総額	103,888,808		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>103,888,808,252円</b>
コール・ローン等	103,888,808,252
<b>(B) 負債</b>	<b>200,442,764</b>
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>103,688,365,488</b>
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>103,532,314,258口</b>
1口当り基準価額(C / D)	10,015円

\* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-TOP 1 Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

レード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の植音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

# ダイワ・マネーストック・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。